

ライフ・イン京都

〒615-8256
京都市西京区山田平尾町46-2
TEL.075-381-1870 FAX.075-381-1899
http://www.lifeinkyoto.com



- *日時…2月3日(日)10時頃
 - *場所…松尾大社
(京都市西京区嵐山宮町3)
 - *市バス「松尾大社前」から徒歩3分
 - *阪急嵐山線「松尾大社駅」から徒歩4分
- Tel 075(871)5016

石見神楽とは神楽の様式の一つで、島根県(石見地方)と広島県(安芸地方)において伝統芸能として受け継がれ、日本神話を題材とし、演劇の要素を持っています。

出雲神話の主人公である「素戔嗚尊」が松尾大神の神である「大山咋神」の祖父神にあたる由縁もあって、島根県益田市の種神楽保存会の皆様が奉納のために来て頂いているそうです。

舞台を清める塩祓いから始まり、鬼が登場して「大蛇の舞」素戔嗚尊が出雲の国に降りて八岐大蛇を退治し、奇稲田姫と結婚する下りではダイナミックで色鮮やかな大蛇を見ることが出来ます。

2月3日の節分の日に行われる「節分大祭」は「石見神楽」の奉納や「鬼の舞」「福豆まき」と見どころ盛りだくさんで、毎年多くの人で賑わいます。

出かけませんか？ 松尾大社節分祭 石見神楽

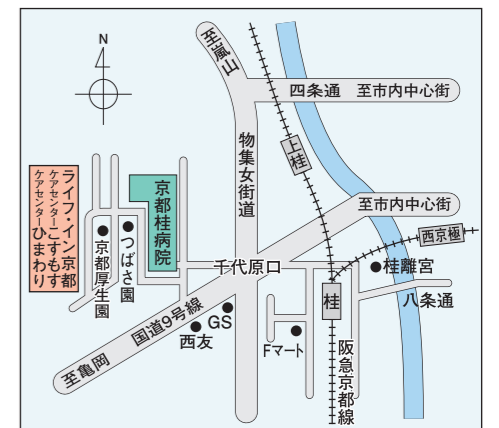


ライフ・イン京都のデータ ※ケアセンターの共用施設については省きます。

事業主体：社会福祉法人 京都社会事業財団
敷地面積：14,216.87㎡ 事業主体所有
建物延面積：22,200.88㎡ 事業主体所有
居室数：一般居室(1DK~3LDK)全室個室77タイプ 226室(定員288名)
介護居室(ワンルーム)全室個室3タイプ 82室(定員82名)
居室面積：一般居室 31.19㎡~85.56㎡ 介護居室 15.71㎡~21.45㎡
交通の便：阪急京都線桂駅から約2,200m(専用バス約15分)
所在地：京都市西京区山田平尾町46番地の2
開設：昭和61年11月 ライフ・イン京都(本館)竣工
平成7年4月 ケアセンターこすもす竣工
平成17年10月 ケアセンターひまわり竣工
類型：介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)
表示事項：①居住の権利形態：利用権方式 ②利用料支払方式：一時金方式
③入居時の要件：入居時自立・要支援・要介護
④介護保険：京都市指定介護保険特定施設(一般型特定施設)
⑤介護居室区分：全室個室
⑥一般型特定施設である有料老人ホームの介護にかかわる職員体制：2：1以上
共用施設：ロビー、フロント、売店、集合郵便受け、多目的ホール、レストラン、シアタールーム、大浴場、応接会議室、カルチャー教室、デイルーム、談話室、アスレチックルーム(機能訓練室兼用)、ビューテラス、図書室、茶室、和室(3室)、アトリエA、アトリエB(プレイルーム兼用)、一人用介護浴室、来客用駐車場
利用時に費用が必要となるもの：美容室(予約制)、
体験入居室・ゲストルーム：[本館2室]体験入居室/ゲストルーム兼用/予約制
[ケアセンターひまわり1室]体験入居室/ゲストルーム兼用/予約制
コインランドリーコーナー(2ヶ所・夫々洗濯機3台 乾燥機3台)
利用契約及び利用料が必要となるもの：トランクルーム、駐車場、一坪菜園

入居状況 2018年12月1日末現在

一般居室		介護居室	
194名	(入居契約率 77%)	75名	(入居契約率 91.5%)
(男性 51名 平均年齢 81.0歳)	(女性 143名 平均年齢 85.0歳)	(男性 11名 平均年齢 89.5歳)	(女性 64名 平均年齢 88.8歳)



明けましておめでとうございます



社会福祉法人 京都社会事業財団
 介護付有料老人ホーム ライフ・イン京都
 ホーム長 青山 薫

皆様におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えになられたことと、心よりお喜び申し上げます。

昨年は誰もが自然の猛威を実感した年でした。被災された方々には心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

地球全体の自然環境が大きく変動するなか、日本は世界に類を見ない速さで超高齢社会が進んでいます。

平成29年の統計では高齢化率（総人口に占める65歳以上人口の割合）は27・7%となり、平成54年まで増加傾向が続くと予想されています。近年は人生100年時代と言われていますが、平均寿命は今後さらに伸び続けます。平成77年には男性84・95歳、女性91・35歳となると言われています。（内閣府 平成30年度版高齢社会白書より）

それに対して少子化が進み、労働力人口が少なくなるなか、昨今の人材不足は介護職員に限らず大きな課題となっています。

介護の仕事において物理的な力の部分を機械に助けってもらうことは可能になってきていますが、人間の五感を駆使して判断し、行動するといった総合的な能力の部分においてはまだまだ発展途上です。

AI（人工知能）も猛スピードで進化しています。ライフ・イン京都では人の手と心の温かさを基にしたうえで、介護を受ける側と提供する側の双方がより快適になるようにと考え続けています。

移乗用リフトや立ち上がり補助器具といった福祉機器については職員が実際にいろいろ試して、現場の知恵と経験を活かしながら導入しています。今年秋には開設33年目を迎えるライフ・イン京都ですが、30年以上

お住まいの方が35名、90歳以上の方が84名と、お元気でご長寿の方が多いのもライフ・イン京都の特徴です。ご入居者の努力と共に、京都大学との「健康長寿計画」が果たす役割も大きくなっていると感じます。

現在、原状回復工事が必要な居室が多数できましたので急ピッチで工事を進め、今後の35周年、40周年を目標に、第二期の満室を目指して参りたいと考えております。ご入居者のなかには、先にご入居いただいている方からのお勧めでお入りいただいた方や両親が生涯を過ごしたこのホームでとお入りいただいた方など、ご縁が繋がって今に至っております。二世帯、三世帯に亘るお付き合いをさせて頂けるのは永く継続しているホームならではの醍醐味であり、改めて皆様に感謝申し上げますと共に、この輪が大きく広がります

よう力を尽くして参ります。

私が入職しました20年前は、明治生まれのご入居者の方がたくさんいらっしゃいましたが、時を経て今は大正、昭和時代の方々になりました。そして、今年には元号が改まり、また新しい時代が始まります。

ご入居者の方々と一緒に東京オリピックを観たり、大阪万博に出かけたりと、楽しい目標もできました。今年には新入職員も迎えて職員一同、心新たに頑張つて参ります。

今年が皆さまにとりまして、どうぞ安寧な年になりますようお祈り申し上げます。



開設32周年 記念行事

Anniversary Ceremony

11/26 開設記念 コンサート 参加者 64名

出演者 アンサンブル kotokotoの皆様
 メゾソプラノ… 猪木 薫氏
 フルート… 磯部 裕子氏
 レバーハープ… 菅田 貴子氏
 ピアノ… 田中 佳穂子氏



11/25 開設記念 演芸会 参加者 69名



歌：足立 明久様

歌：加藤 雅晴様

歌：今西 親子様
 歌：野崎 良子様

ハーモニカ演奏：水口 綾子様

歌：田丸 恭子様

歌：後藤 暁様

歌：西井 昭雄様

ヘルマンハープ：足立 久子様

演奏：杉原 幸子様

お話：矢崎 紀様



開設記念 競技会

11/22 木



11/20 火



11/21 水



11/20 火 11/24 土 作品展





ケアセンターひまわり・ケアセンターこすもす

ケアセンター便り



秋のレクリエーション

ひまわり 1F

京都嵐山へ行きました。「お寺を散歩して美味しいご飯を食べてとっても楽しかったです。」



また連れて行って下さいね」と大変喜ばれておられました。



ひまわり 2F

10月19日 寿司職人来て頂き寿司パーティを開催しました。



目の前で握って頂く事で食欲増進！日ごろ食が細かい方も、たくさん召し上がって頂きました。

ひまわり 3F

10月16日

秋の野外レクリエーションとしてお寿司屋さんに行きました。普段とは違った雰囲気ながら皆様おいしいとたくさん召し上がられました。また、今回新しい取り組みとして全フロア合同で実施しました。ご入居者、職員とも交流する事が出来る良い機会となりました。



7月20日 お食事会を開催し、サンドウィッチやローストビーフ、エビフライ等召し上がって頂き、皆様ペロリと完食されました。



毎月一回関西盲導犬協会よりラブラドルレトリバーのドーリーちゃんに来てもらっています。愛くるしい表情にご入居者、職員共に癒されています。

ひまわり 4F

秋の運動会を行いました。紅・白に分かれてバトンリレーや玉入れなど手作りの優勝トロフィー目指して皆様頑張られました！



今年は白組が優勝しました



季節に応じた作品をご入居者と一緒で作製しています。皆様手先を器用に動かされ素敵な作品が出来上がっています。

こすもす

食事会を開催し、お好み焼きを召し上がられ「おいしい」と1枚完食されました。



寿司パーティを開催し、「すごいね。これ全部食べていいの。」と普段とは違う雰囲気で大変楽し召し上がって頂きました。

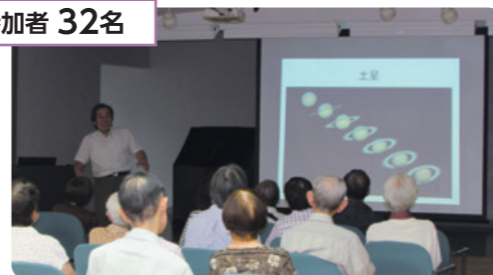
最近の主な出来事

EVENT REPORT

2018年 9月~12月

天体講演会 & 観望会

9月18日(火) 講師 高橋 進氏 (アマチュア天文家)
参加者 32名



「月と星のお話」をテーマに講演いただきました。観望会では、雲が少し邪魔をして中々火星と土星を観ることが出来ませんでした。雲の隙間から運よく見る事が出来ました。

ほろ酔いサロン & 歌声コンサート

10月13日(土) 演奏者 阿曾沼 克弘氏(ギター)
阿曾沼 飛昂氏(ヴァイオリン)
参加者 53名



今回も懐かしい曲と一緒に歌ったり、新しい曲を演奏して頂いたり、沢山のご入居者を笑顔にさせて頂きました。

秋の日帰りバス旅行 湖北方面

11月28日(水)
参加者 23名



滋賀県一周の旅に行ってきました！メタセコイア並木は皆様が思われてた景色とは…車中での会話、松花堂弁当もとても美味しかったです。

弦楽4重奏コンサート

12月2日(日) 演奏者 Quartet moon(カルテット・ムーン)
阿曾沼 和代氏(ヴァイオリン)・熊田 千穂氏(ヴァイオリン)
藤井 千穂氏(ビオラ)・内田 浩美氏(チェロ)
参加者 46名



弦楽器のすてきな音色を演奏いただきました。また生演奏と一緒に歌ったりと素敵な時間を過ごさせていただきました。カルテット・ムーンの皆様から少し早い演奏会のプレゼントを頂きました！

第4回 健康長寿講演会

9月19日(水) 「転倒予防と健康長寿」
参加者 31名 講師 石本 恭子氏
(川崎医療福祉大学 保健師・健康運動指導士)

第5回 健康長寿講演会

10月24日(水) 「脂質異常症と健康長寿」
参加者 42名 講師 和田 泰三氏
(京都大学 東南アジア地域研究 研究所 連携准教授)

第81回 京都桂病院 健康教室

12月1日(土) 第81回 京都桂病院 健康教室
「シニアのための運動のすすめ」
参加者 73名 (外来者:33名 ご入居者:40名)





information
お知らせ掲示板



入退去状況

●新しくご入居されました

【本館】

平成30年11月10日

六〇三号室 西井昭雄様

*他1名の方が

ご入居されました*

●ご逝去のお知らせ

平成30年9月から12月までの間に、9名の方がお亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



新人職員紹介

【ケアサービス課】



前田 祐希
京都府出身
趣味 夏野菜作り

【ケアサービス課】



関 昌美
滋賀県出身
趣味 読書

【ケアセンター介護課】



吉岡 妙子
京都府出身
趣味 食べ歩き

よろしくお願ひします。

桂 京都桂看護専門学校
模擬患者参加型授業

in ライフ・イン京都

10月19日、29日開催

模擬患者ボランティアに2日間でご入居者の皆様29名にご参加頂きありがとうございました。

京都桂看護専門学校の模擬患者参加型授業は2008年から行われており、京都桂病院ボランティア「トータス桂」の皆様とライフ・イン京都のご入居者のご協力で京都桂看護専門学校で行われておりました。

2年前からは会場をライフ・イン京都に移し、ご入居者の方々も参加して頂きやすくなりました。

看護学生育成のご協力に感謝申し上げます。



フィールドワーカー石本の

健康コラム

第23回

タイ訪問

京都大学 東南アジア地域研究研究所 石本 恭子
川崎医療福祉大学

写真1



老人ホームの外観

写真2



ケアワーカーがリハビリをしている様子

2018年10月19日から25日までタイを訪問しました。まず、マヒドン大学で開催されたヘルスケア研究会に参加しました。2017年のタイの高齢化率は11.4%で、日本の27.1%に比べるとまだまだ低い割合です。しかし、アジアの国々における高齢化のスピードは、先進国より早いことが予測されており、高齢化対策が急がれています。また介護保険のような社会保障制度の整備は、十分とは言えません。このような社会背景を踏まえ、高齢者の生活をいかに支えるかという点から議論が行われました。

入居費用が払えなくなると、住み続けることができず施設もあるそうです。住み続けるにはお金が必要になるので、都会に住む貧しい独居高齢者への対策などが重要になってくるのではないのでしょうか。また、タイ政府は、地域のボランティアを高齢者ケアの担い手として考えています。しかし、ボランティア活動よりも政治的活動を優先するといった本来の活動の意図とは異なるケースなどあり、高齢者対策の課題は多いといえます。

ト先生を訪問しました。その際、住宅街にあるプライベート老人ホームの見学を一緒に行いました(写真1)。庭や居室スペースで職員の子どもが遊んでいて、穏やかな雰囲気を感じました。入居者数は約40名で、寝たきりの方もおられました。ケアワーカー1人が入居者3から5人を担当します。ちょうど保清後のリハビリ中で(写真2)、二人は和やかに話をしながらリハビリをしていました。日本では吸引や経管栄養などの処置を看護師が行います。一方、タイの老人ホームには看護師がいないので、医療的処置もケアワーカーに委ねられ、日本と異なるケアの状況が分かりました。

Small Topic

戦場にかける橋



クワイ河橋

「戦場にかける橋」(1957)というアメリカ映画をご存知でしょうか?この映画は、バンコク北部のクワイ川橋が舞台となっています。この橋はもともとメクロン河永久橋と呼ばれていたようですが、映画のクワイ河橋が有名になり橋の名前が変わったそうです。映画の木造の橋とは異なりコンクリートでできた橋で、その上を歩くこともできました。橋の周囲には、たくさんのお土産屋が並び、移動式水上レストランもあり、多くの観光客で賑わっていました。歴史を考えると、なんとも複雑な気持ちになりました。

参考文献: <https://www.globalnote.jp/post-3770.html>